



# ノードを対象としたNDMPの設定

## ONTAP 9

NetApp  
December 20, 2024

# 目次

ノードを対象としたNDMPの設定 .....	1
クラスタでノードを対象としたNDMPを有効にする .....	1
LIFを設定する .....	2

# ノードを対象としたNDMPの設定

## クラスタでノードを対象としたNDMPを有効にする

単一のノードでホストされているボリュームをバックアップするには、ノードを対象としたNDMPを有効にし、NDMPサービスを有効にし、データ接続と制御接続用のLIFを設定します。この処理は、クラスタのすべてのノードに対して実行できます。



ノードを対象としたNDMPは、ONTAP 9で廃止されました。

### タスクの内容

ノードスコープモードでNDMPを使用する場合は、ノード単位で認証を設定する必要があります。詳細については、[を参照してください "サポート技術情報の記事「ノードスコープモードでNDMP認証を構成する方法」"](#)。

### 手順

1. ノードを対象としたNDMPモードを有効にします。

```
cluster1::> system services ndmp node-scope-mode on
```

NDMPのnode-scope-modeが有効になります。

2. クラスタ内のすべてのノードでNDMPサービスを有効にします。

ワイルドカード「\*」を使用すると、すべてのノードでNDMPサービスが同時に有効になります。

バックアップアプリケーションによるNDMP接続の認証用のパスワードを指定する必要があります。

```
cluster1::> system services ndmp on -node *
```

```
Please enter password:  
Confirm password:  
2 entries were modified.
```

3. NDMPパスワードのセキュアな通信のためのオプションを無効にし`-clear-text`ます。

すべてのノードで同時にワイルドカード"\*"オプションを使用する\*" disables the`-clear-text`.

```
cluster1::> system services ndmp modify -node * -clear-text false
```

4. NDMPサービスが有効になっていて、オプションが無効になっていることを確認し`-clear-text`ます。

```
cluster1::> system services ndmp show
```

Node	Enabled	Clear text	User Id
cluster1-1	true	false	root
cluster1-2	true	false	root

2 entries were displayed.

## LIFを設定する

ノードとバックアップアプリケーションの間のデータ接続および制御接続の確立に使用されるLIFを特定する必要があります。LIFを特定したら、そのLIFに対してファイアウォールポリシーとフェイルオーバーポリシーが設定されていることを確認する必要があります。



ONTAP 9 10.1以降では、ファイアウォールポリシーが廃止され、LIFのサービスポリシーに全面的に置き換えられました。詳細については、[を参照してください "サポートされるトラフィックの管理"](#)。

## ONTAP 9.10.1以降

### 手順

1. コマンドでパラメータを指定して `-service-policy`、ノードでホストされているクラスタ間LIFを特定します `network interface show`。

```
network interface show -service-policy default-intercluster
```

2. クラスタ間LIFにサービスが含まれていることを確認し `backup-ndmp-control` ます。

```
network interface service-policy show
```

3. クラスタ間LIFのフェイルオーバーポリシーが適切に設定されていることを確認します。

- a. コマンドを使用して、`network interface show -failover`クラスタ間LIFのフェイルオーバーポリシーがに設定されていることを確認します`local-only`。

```
cluster1::> network interface show -failover
          Logical          Home          Failover
Failover
Vserver   Interface          Node:Port          Policy          Group
-----
-----
cluster1  IC1                cluster1-1:e0a    local-only
Default
Failover
Targets:
          IC2                cluster1-2:e0b    local-only
Default
Failover
Targets:
          cluster1-1  cluster1-1_mgmt1  cluster1-1:e0m    local-only
Default
Failover
Targets:
          .....
```

- b. フェイルオーバーポリシーが適切に設定されていない場合は、コマンドでパラメータを指定し `-failover-policy`でフェイルオーバーポリシーを変更します`network interface modify`。

```
cluster1::> network interface modify -vserver cluster1 -lif IC1
-failover-policy local-only
```

## ONTAP 9.9以前

### 手順

1. コマンドでパラメータを指定して `-role`、ノードでホストされているクラスタ間LIFを特定します `network interface show`。

```
cluster1::> network interface show -role intercluster
```

	Logical	Status	Network	Current
Current Is				
Vserver	Interface	Admin/Oper	Address/Mask	Node
Port	Home			
-----				
cluster1	IC1	up/up	192.0.2.65/24	cluster1-1
e0a	true			
cluster1	IC2	up/up	192.0.2.68/24	cluster1-2
e0b	true			

2. クラスタ間LIFでNDMPに対してファイアウォールポリシーが有効になっていることを確認します。

- a. コマンドを使用して、NDMPに対してファイアウォールポリシーが有効になっていることを確認します `system services firewall policy show`。

次のコマンドは、クラスタ間LIFのファイアウォールポリシーを表示します。

```
cluster1::> system services firewall policy show -policy
intercluster
```

Vserver	Policy	Service	Allowed
cluster1	intercluster	dns	-
		http	-
		https	-
		ndmp	0.0.0.0/0, ::/0
		ndmps	-
		ntp	-
		rsh	-
		ssh	-
		telnet	-

9 entries were displayed.

- b. ファイアウォールポリシーが有効になっていない場合は、コマンドでパラメータを指定して `-service`、ファイアウォールポリシーを有効にします `system services firewall policy modify`。

次のコマンドは、クラスタ間LIFのファイアウォールポリシーを有効にします。

```
cluster1::> system services firewall policy modify -vserver cluster1
-policy intercluster -service ndmp 0.0.0.0/0
```

3. クラスタ間LIFのフェイルオーバーポリシーが適切に設定されていることを確認します。

a. コマンドを使用して、`network interface show -failover`クラスタ間LIFのフェイルオーバーポリシーがに設定されていることを確認します`local-only。`

```
cluster1::> network interface show -failover
          Logical          Home          Failover
Failover
Vserver   Interface          Node:Port          Policy          Group
-----
-----
cluster1  IC1                cluster1-1:e0a     local-only
Default
          Failover
Targets:
          .....
          IC2                cluster1-2:e0b     local-only
Default
          Failover
Targets:
          .....
cluster1-1 cluster1-1_mgmt1 cluster1-1:e0m     local-only
Default
          Failover
Targets:
          .....
```

b. フェイルオーバーポリシーが適切に設定されていない場合は、コマンドでパラメータを指定し `-failover-policy`てフェイルオーバーポリシーを変更します`network interface modify。`

```
cluster1::> network interface modify -vserver cluster1 -lif IC1
-failover-policy local-only
```

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。